

●その他2つのプロジェクト報告●



5.ハートンマルシェ

障害のある方の手作り品の販路拡大、工賃アップを目指し、毎月第4金曜日に販売を行っています。新型コロナワクチン接種の都合により、会場である兵庫区役所の1階が使えないことにより、定期開催が難しい状況が続いていました。令和4年7月より、パークタウンのフリースペースを活用し販売活動を継続しました。令和4年11月には、兵庫区社会福祉協議会が企画する「社会とつながるはじめての一步ツアー」の方々が来ていただきました。

また定期的な販売以外にも、兵庫運河祭で出店する等地道な活動を続けています。

現在、販売用のチラシを新しくするため協議しています。



6.のりあいネットワーク

複数の事業所により、共同で利用者の車両送迎事業を運営しているネットワークです。送迎が困難で利用できない方を少しでも減らすことを目的として活動しています。

現在、4台の車両、4ルートがあり、事業者間での相互の乗り合いが行われています。

近年は、新型コロナウイルスの対応や利用者対応について等が主に情報共有されています。

課題として、車両の老朽化や人の配置、加盟事業所の減少があり、事業所の現状を知ることで地域課題の解決に取り組んでいきます。



令和5年3月発行
編集・作成 兵庫区自立支援協議会
TEL: 078-686-1731 FAX: 078-686-1732



兵庫区自立支援協議会報

ひょう心通信



兵庫区制90周年

兵庫区自立支援協議会について

神戸市では「ともに住み続けたいなるまちを目指して～障がいがあってもなくても安心して豊かに暮らせるこうべ」を基本目標として、神戸市自立支援協議会及び各区自立支援協議会を設立しました。

兵庫区自立支援協議会は「障害者自立支援法」(平成18年4月)の施行を受け、平成20年3月14日に「兵庫区障害者支援ネットワーク」を発展的に組織し設立され、現在に至っています。

障がい者が住み慣れた地域で安全・安心に長く生活を続けるためには、区内の団体・事業者・行政が共に支えあう様々な仕組みづくりを行っていくことが大切と考えています。

兵庫区自立支援協議会は、関係各機関や団体と協力し、社会参加や地域課題に取り組むことで、「やさしさと思いやりのまち 兵庫」にふさわしいまちづくりにおいて、協議会の更なる活性化を図ってまいります。

では、令和4年度の兵庫区自立支援協議会の4つの部会と2つのプロジェクト活動をご紹介します。



1.防災を考える部会

障害当事者が参加する部会ということもあり、コロナ禍の開催にオンラインを活用することが難しい状況でしたが、今年度は試行的に Zoom 開催を行いました。聴覚障害者は手話通訳を介しての参加となるので会場参加の方が良い、感染リスクが抑えられる等賛否両論がありました。オンライン環境が整っている事業所や操作が可能な方と、会場参加の方に分かれて開催する等安心して参加できるよう環境を整えました。

また、近年地域でのワークショップが行えない状況が続きましたが、地域とのつながりや触れ合う機会を持ちたいという部会員の思いもあり、来年度開催する方向で調整を行い徐々にコロナ前の状況に戻りつつあります。

今年度から新たに神戸市立盲学校が加盟しました。視覚障害の障害理解のため、盲学校の紹介や防災対策についての説明や災害時の事業継続計画（BCP）について共に学ぶ機会を持ち、学校見学や障害当事者でもある教員の方との懇談を行いました。



3.相談支援部会

今年度は計画相談に特化した意見交換、情報共有ができないか、との意見から「計画相談のつどい」を偶数月に開催しました。「困りごとを1人で抱え込まない」環境を作り、交流を持つことで横のつながりを強固にすることが出来ました。特定相談支援事業所は1人職場のところも多く「つどえる場」があることは相談員にとっても心強いことです。

また定例の相談支援部会では事例検討会を行い支援者が困難と感じる事例の「ストレングス」や、多（他）職種連携について話し合いを行いました。障害のある児童が児童養護施設を退所した後の支援について、児童福祉と障害福祉が連携しやすい関係づくりを行うことをテーマに、夢野こどもホームの見学、意見交換会を実施しました。

3区合同（須磨区、長田区、兵庫区）の相談支援部会はGIP法を用いた事例検討を行いグループワークから事例提供者が得た気づき・手立てを発表し、相談支援力の向上につなげました。



2.活性化部会

障害を持った子どもさんの親御さんを対象に「おしゃべり会」を開催しました。保護者が抱える「誰に聞いても教えてくれない、話せない」困りごと、福祉サービスを理解し必要なサービス利用につなげていく、保護者同士の情報共有等を目的にグループに分かれて意見交換を行いました。11月の「おしゃべり会」ではオンライン参加の希望もあり、「将来の夢」についてハイブリッド開催をしました。

また今年度から放課後等デイサービスの参加も増え、子どもに特化した課題を検討したい、との意見も出ており、次年度はプロジェクトとして活動を予定しています。



4.事業所部会

就労継続支援 A 型、B 型、生活介護の事業所が参加し、「BCPに関する意見交換、学びの場作り」を行いました。小規模の事業所ではどのように進めればいいのか、まだ作成が進んでいない事業所はどのような災害を想定して作成すればいいかイメージできない、との意見も出されました。今回得た気づきをもとに、各事業所で災害について話し合い、BCPのひな形に記入を試みることにしました。

年度の後半では参加事業所の都合が合わず、部会が延期されることもあり、今後の部会のあり方についても検討する必要性が出ています。

